



~~「目立ちたくはない」~~

それは謙虚さではない。
ただの現実逃避だ。

You aren't hiding.
You're just ignoring the spotlight.

「目立ちたくないんです」——

日本人特有の美德、慎重さ、謙虚さの仮面。

**その言葉の裏に潜む、残酷な本音：
「私はまだ、隠れられる側にいる」
という傲慢な告白。**

「隠れる」という無自覚な特権

世の中には、体格や特徴により「目立つこと」を避けられない人がいる。

「目立ちたくない」と口にできるのは、あなたに「背景に溶け込む選択肢」がある証拠だ。



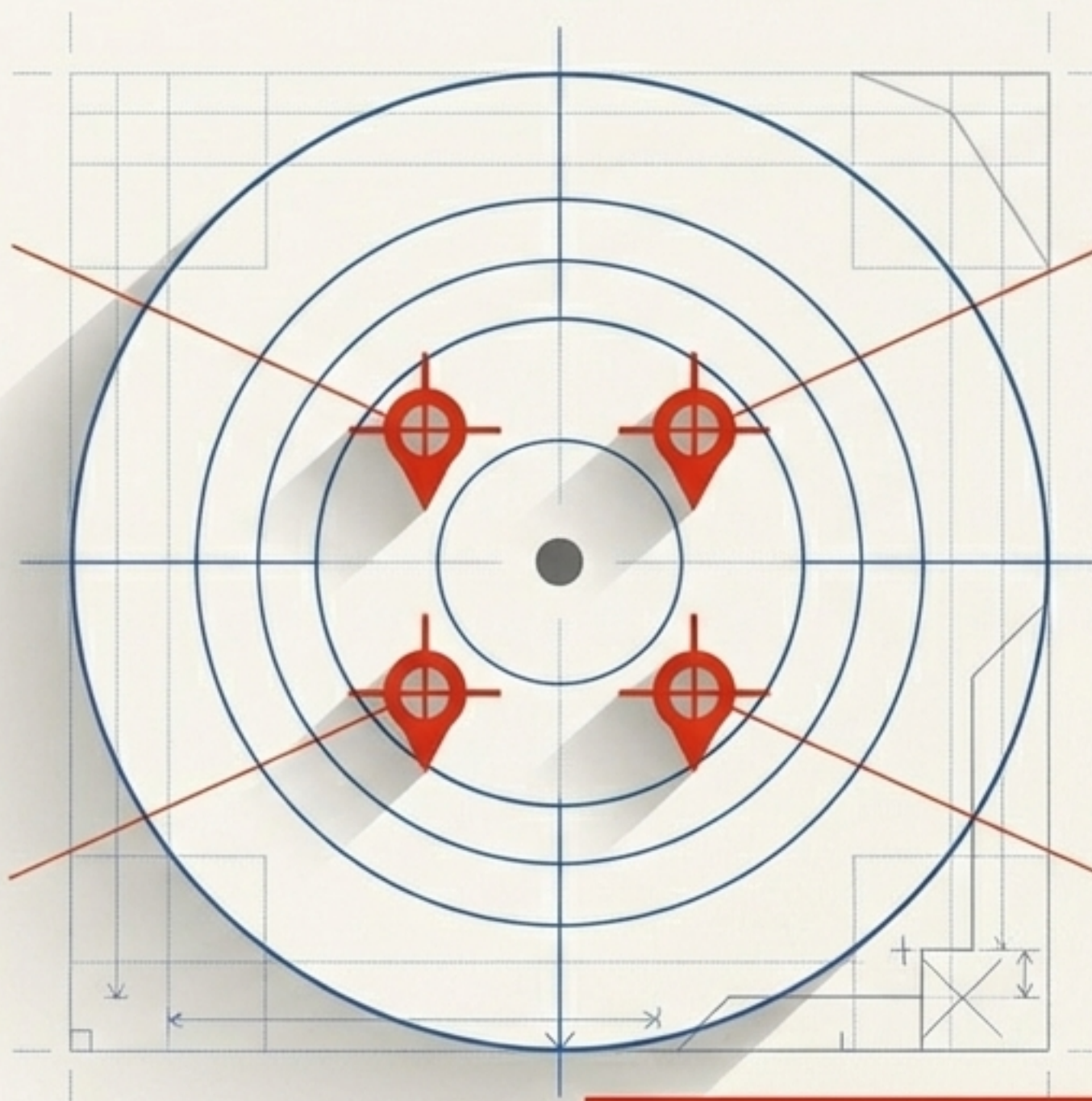
現場の残酷な真実：下手な人ほど「無難」を求める

打点の明らかなズレ

判断の遅れと
足の止まり方

逃げの配球と
怖がったスイング

誤魔化そうとする空気



下手は、もう十分に目立っている。
隠せていると信じ込んでいるのは、自分だけだ。

自己認識のバグ (The Visibility Gap)

自分が思っている「バレている度合い」
(なんとか無難にやり過ごせているはず…)

10%

周囲から見えている「あなたの未熟さ」
(迷い、逃げの姿勢、ミスの誤魔化しまで丸見え)

100%

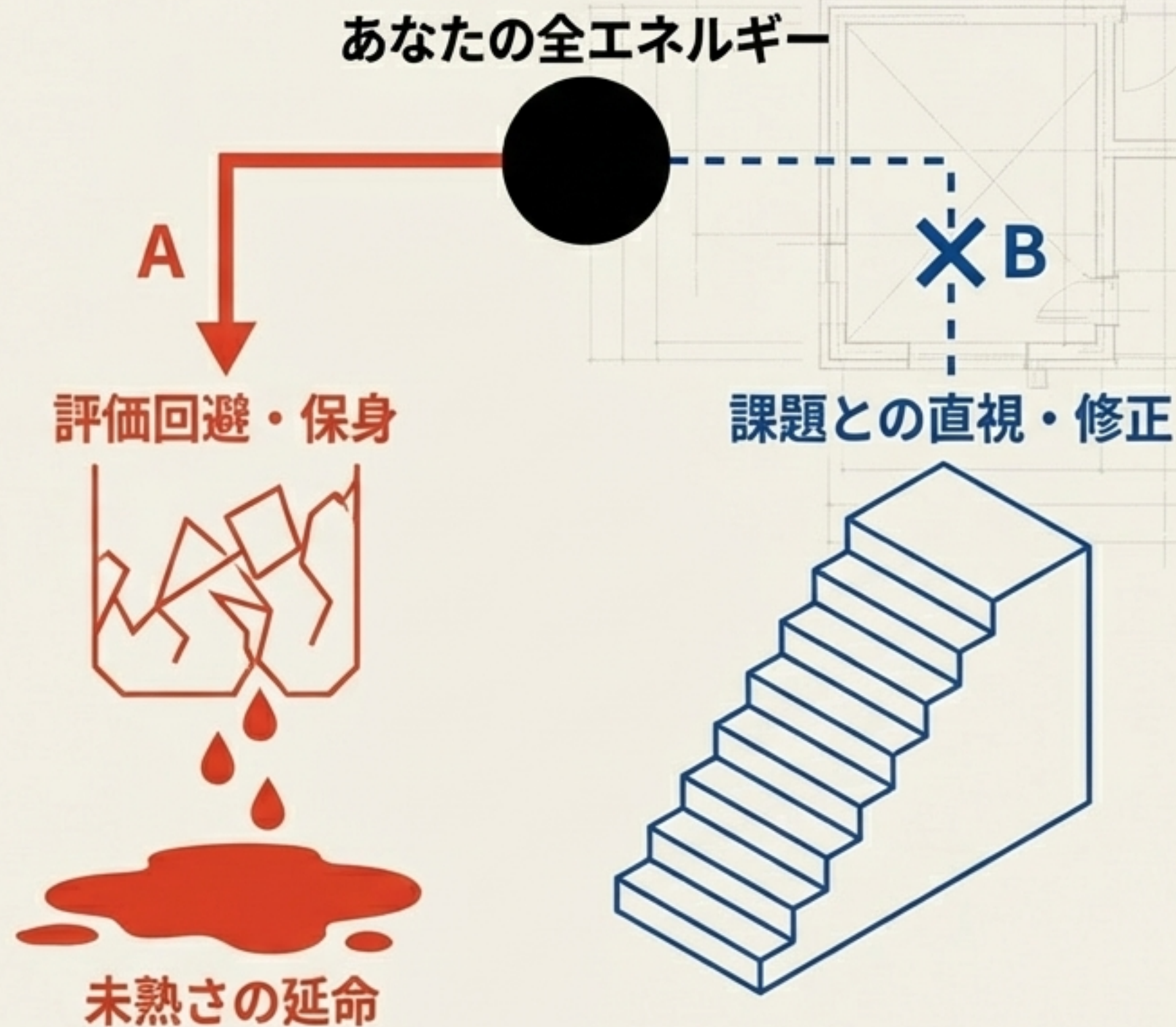
最大の罣はどこにあるのか？

~~[スキルが未熟であること] ≠ 致命的な問題~~

[自立しているのに、まだ隠せると
思っている誤っ自覚] = 致命的なバグ

保身という名の「エネルギーの無駄遣い」

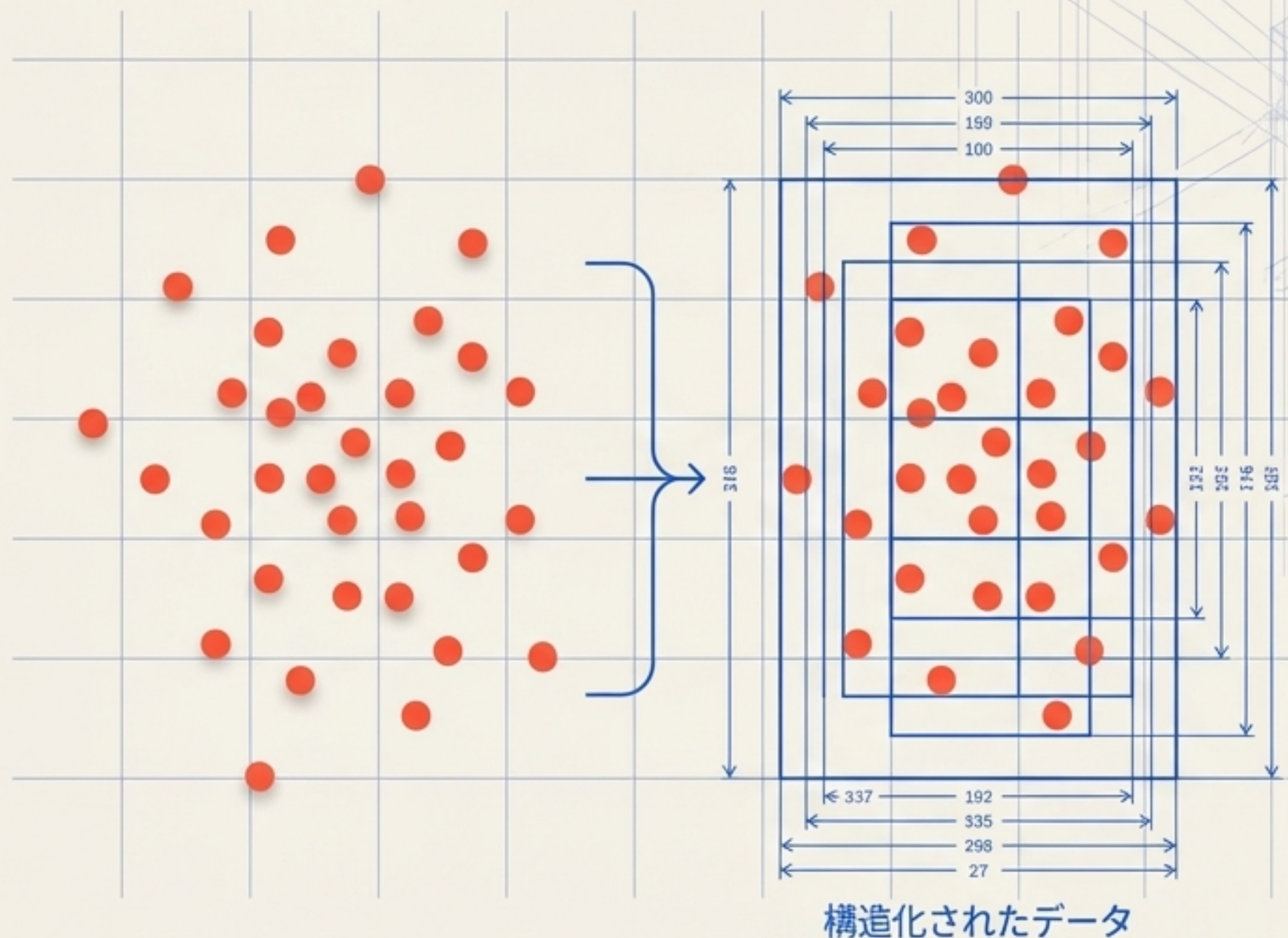
「どうしたら恥をかかないか」にエネルギーを注ぐのは、上達への努力ではない。
ただの「未熟さを延命する行為」である。



AI（最強の学習モデル）の視点

世界で最も賢いシステムは、エラーを隠さない。初期の不完全な回答（エラー）を大いにさらし出し、それを「生データ」としてパラ미터を調整する。

AIに「恥」という概念はない。
あるのは「データ」だけだ。



「どうせもう見えている。」

「だったら、隠すな。」

更新しろ。」

(SYSTEM OVERRIDE: INITIATING UPDATE...)

あなたはどっちだ？ 保身と更新の比較表

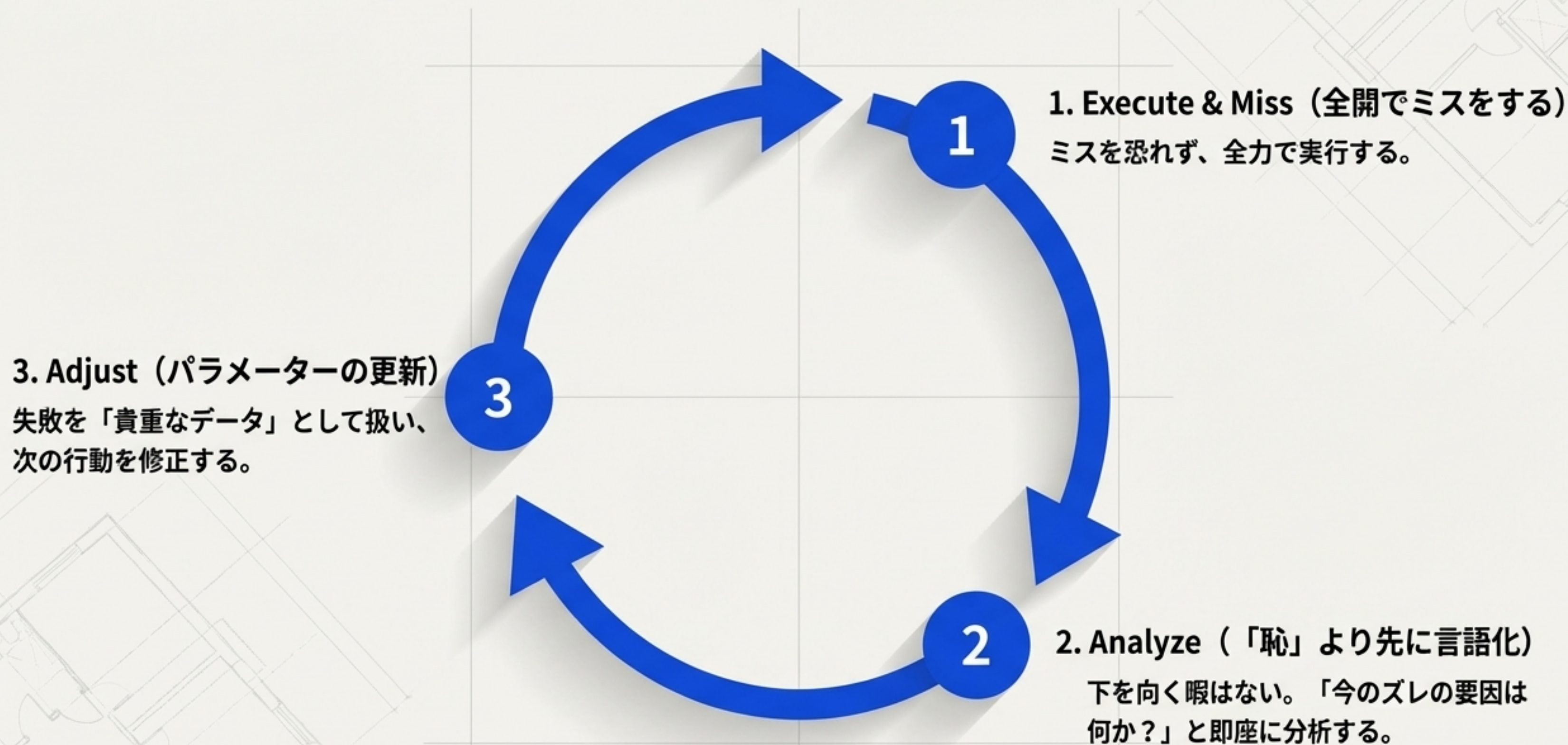
【NG】 隠す工夫

- × 無難なプレー・安全圏に逃げる
- × 失敗を恐れて挑戦しない
- × 体面を守ること、上手く見せることに必死になる

【OK】 更新の工夫

- ✓ 判断やアプローチを意図的に変える
- ✓ 「怖さ」への向き合い方を変え、分析する
- ✓ 再現性を上げるために試行錯誤する

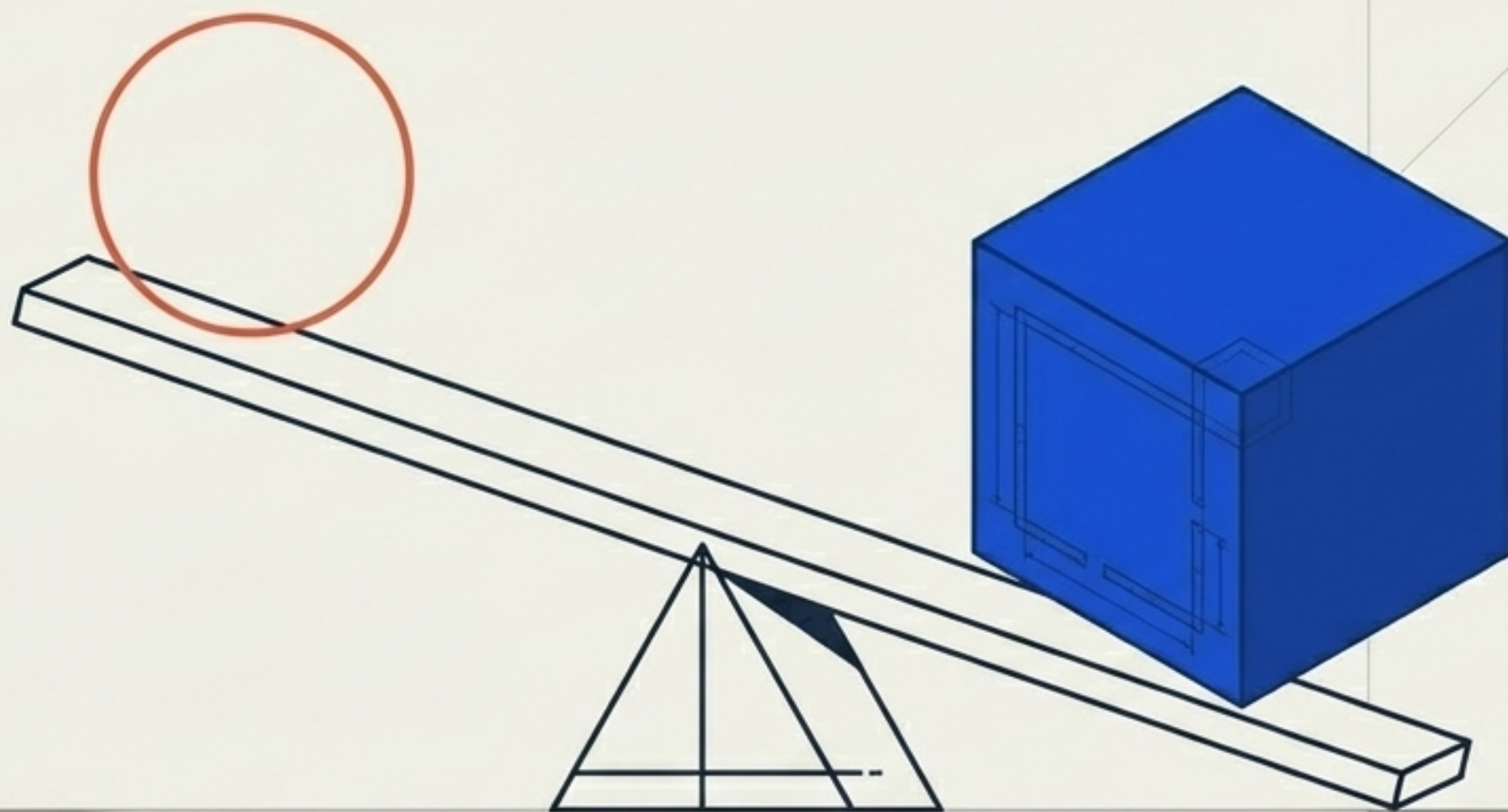
自己更新のアルゴリズム



感情を捨て、恥を「データ」に変換せよ

「上手く見せようとする自分」に気づいたら、その瞬間に思考を切り替える。失敗は隠すべき傷ではない。次の更新に必要な、最も価値のあるデータだ。

一時の恥



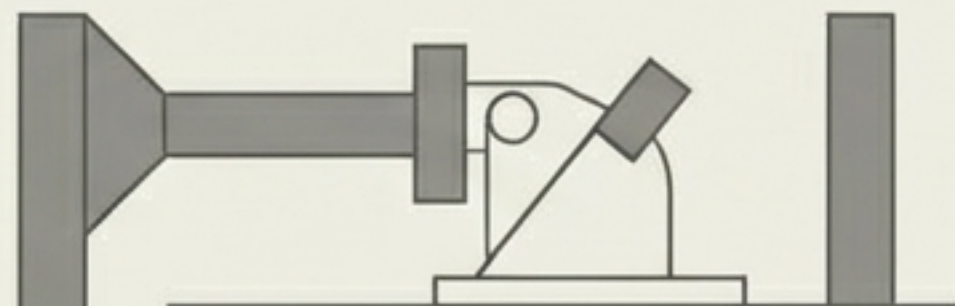
永遠の成長データ

成長の絶対法則 (The Ultimate Formula)



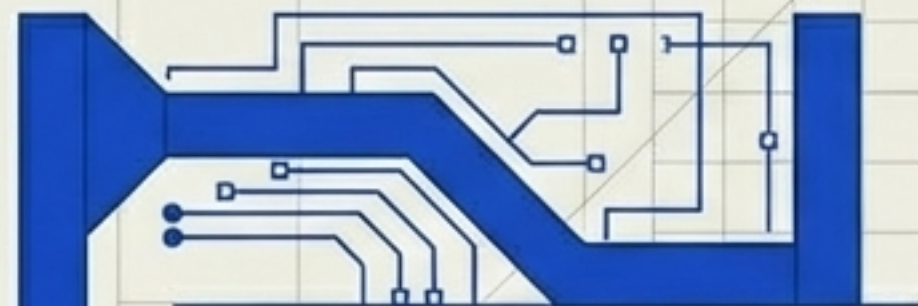
直視 (Acknowledge)

「自分は丸見えである」と認める。隠れられるという傲慢さを捨てる。



停止 (Stop Defending)

「下手を隠す努力」をやめる。保身は未熟さを延命させるだけの愚行だ。

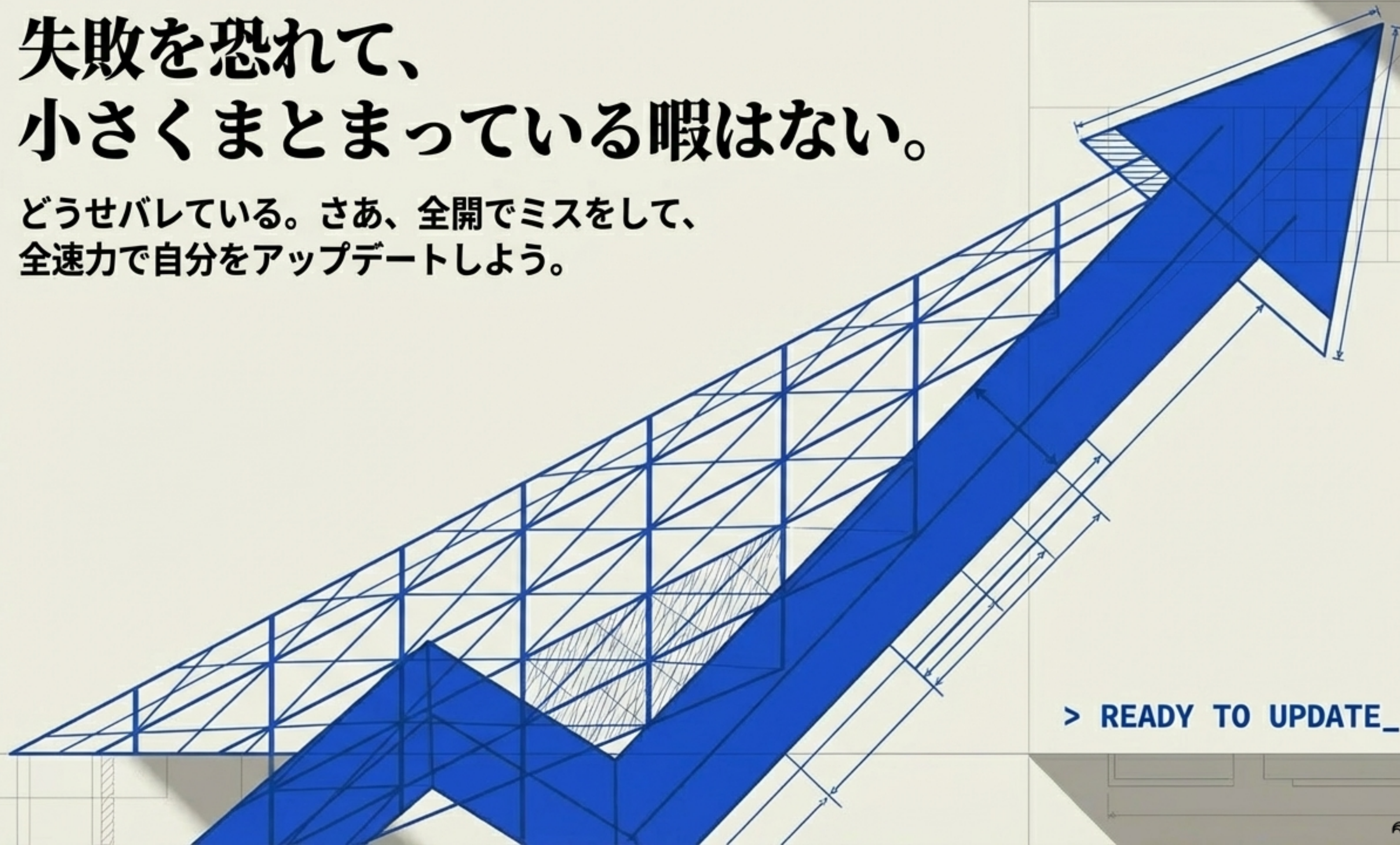


更新 (Evolve Aggressively)

エラーをデータとしてさらし出し、全速力で自分をアップデートする。

失敗を恐れて、 小さくまとまっている暇はない。

どうせバレている。さあ、全開でミスをして、
全速力で自分をアップデートしよう。



> READY TO UPDATE_